

カリカリちりめんと桜海老のねばねばバスタ780円、ピリッと中華風海鮮パイロール680円、生ハムと貝柱とグリーンフルーツの甘ずっぱいサラダ仕立て880円

**FOURMET**  
仏光寺烏丸

**葉屋**  
しおりや

還暦町家も大胆リ・ボーン  
これも一つの生きる道!?

郊外を中心に複数店舗経営してきた葉屋グループが、女性客からの利用価値優先で、これまでの出店方針からガラリ一転。オフィス街のど真ん中に進出してきた。大胆変革のその勢いは、ハコとなる町家にも大波及。玄関脇からはいきなりスチールの大階段がそびえ、ステンレスのかまくらルームがあったと思えば、露わベッドシートの個室がパールの奥に覗き見えたりと、保存・再生の目からみればかなりの逸脱者。「まんま町家」の上手なお手本店が立ち並ぶ今、次なる道を探ればコレくらいのアナーキズムも必要なのか?



巨大豆電球型シャンデリアや屋根裏部屋など、見所はまだまだ



■京都市下京区仏光寺通東入ル  
上柳町320  
☎075-361-4001  
●11:30~L.O.14:30  
17:00~23:00 (L.O.22:30) / 無休  
【平均予算】  
昼1500円 夜3500円

**FOURMET**  
東洞院六角

**DINING KITCHEN 10.10**  
ダイニングキッチンオクトーバーテン



大根サラダ柚子明太トッピング580円、牛しおぶと野菜の生春巻き850円、えびのスパイスバートマトライス酒え680円

名前の価値は知らないけれど、この道の事ならよく分かる。



ここ数年、夜メシ処に事欠かなくなったのは「まんざら」「電気食堂」などのビッグネーム系列の頑張りのお陰でもある。そんな現状の中、飲食道10年選手のコウキ氏が見せた一手。自ら手がけた内装はペントハウスのダイニング。料理もシンプルなフュージョンと一際の新しさを求めないが、デザインや名前に関心する客が見つけた「コノ店」には、一際の説得力がある。



カウンターとダイニングの両者兼いた店内を自らデザインしたコウキ氏は、店舗施工も担当

■京都市中京区東洞院六角下ル  
ロイヤルプラザビル2F  
☎075-212-0578  
●11:30~14:30  
18:00~翌2:00 (L.O.翌1:00)  
無休  
【平均予算】 昼750円 夜3500円

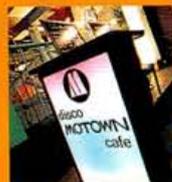


■京都市中京区麩屋町通三条下ル  
白壁町442F S2ビル3F  
☎075-254-5911  
●11:00~20:00  
日祝10:00~19:00  
月・第3火休 ※予約優先制  
【メニュー】  
カット4500円~  
パーマ5000円~  
カラー5000円~

**NIGHT SPOT** **disco MOTOWN CAFE**  
ディスコ モータウンカフェ

時は70年代。京都でも20軒あまりがシンギを削り、春連は皆ドレスに身を包んだ紳士・淑女…。伝説しつつあるディスコ黄金期を、今に復活させようというかねてからの声がついに実現した。往年の夜を完璧に再現したのは、当時からアラビアンナイト、マハラジャを経て現場に立ちつづけるスタッフ。時のみを知る世代なら、マナーなりルーツなりまじろご教授願いたい。

もう懐古伝では終わらない  
煌くライトに身を躍らせる



■京都市東山区大和木路下ル  
アップルビルB1  
☎075-525-0221  
●20:00~MIDNIGHT (バー)  
金・土・祝前日21:00~MIDNIGHT (ディスコ) / 無休



欠かせないのはミラーボールにVIP席…。週末の深夜になると1Fのcafe bar DejavuがVIPルームに変わる

平日はバー営業のみだが、流れる70'sソウルに華やかに盛りだすのも、まあアリ…



**BEAUTY**  
麩屋町三条

**P.O.P HAIR**  
ピーオーピーヘアー

一線越えた深い付き合い、やっちゃいますか?



舞台は同じサロンでも、言わば一人一人のスタイリストが「個人商店」。接客も洗髪もカットも全て1on1。営業時間もあってなく、例えば深夜の11時でも「ああ、僕、その時間かまへんで」と、担当スタッフが承諾すれば、パーマでもOK。客以上友達未満のユルさ加減にムフツ。



クリームベージュの壁にフローリングと、空間はオーガニック、ウェディングのソファでは、王様気分でカラダをどっぷりつけてみたい。フェイシャルのエスティックとリフレクソロジーも、完全予約制で受付けている



1階は中庭に面したテーブル席で2階は座敷。座椅子には肘掛けで殿様仕様

## 北山で気分は田舎へ里帰り カフェサロンepisode II

少々元気の無い北山で孤軍奮闘、カフェ巡礼の札所に北山エリアをノミネートさせた「カフェサロン」から届いた嬉しい便り。今度のハコは一軒家。郷愁の琴線にピンピン触れる、アメ色の木造家屋がその舞台。ありふれた言葉で表すならば、「田舎のおばあちゃん家に来たような」。それもそのはず、屋号の「又吉」は、オーナーの曾祖父の御名。岡山で醤油の醸造業を営んだ彼に敬意の念を込め、気取り要らず献立に又吉翁の醤油を愛用中という。色味は濃い、あっさり甘口の田舎醤油の味わいは、しなびた心も潤すはず。



薬根の食感を閉じ込めた手ごねつくねの又吉特製黄味ダレ430円。豆腐とズッキーニのあっさりカレーピラフ880円。牛肉のあぶりたて又吉ごちそうサラダ980円



■京都市北区上賀茂岩ヶ垣町15-5  
☎075-702-5808  
●17:00~24:00 (L.O.23:30) / 無休  
【平均予算】2500円

# NEWS

## な 街ネタ

GOURMET GOODS NIGHTSPOT  
FASHION BEAUTY SPACE ANOTHER

BEAUTY  
西大津

## days hair 西大津店

スタイリングで楽しむ髪型



南国の人々が紡ぎ、  
愛した  
芭蕉布の  
温もりにも包まれて

福所駅前のおきめき坂に建つ「days hair」の2号店。白とブルーで統一された1号店とは全く異なり、アンティークの芭蕉布を使ったオブジェや琉球松の手作り椅子など、人肌の温もりがダイレクトに伝わる空間が現れた



コトの起こりは、石垣島で出会った一枚の布だった。温帯で素朴、さらさらとした肌触りの「芭蕉布」は、途方もない時間を費やし、手で紡がれる職人芸。その丁寧な仕事ぶりに手作業の原点を見た。願わくば、美容師もかくありたい…。店内の布のオブジェはそう語る。

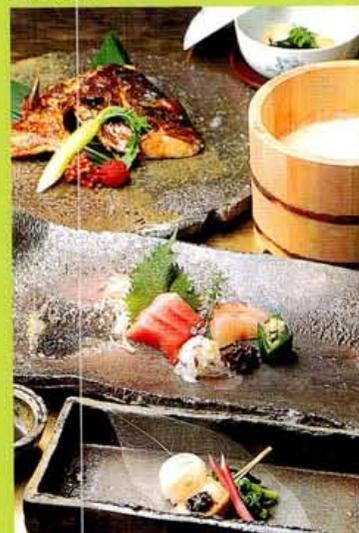
■大津市皇子ヶ丘2-10-27西大津ビル2F  
☎077-521-1225  
●9:30~18:30 (パーマ・カラー受付~17:30)  
月・第3火休 ※予約優先制  
【料金】カット3800円、パーマ4000円~ カラー5000円~



## JAZZ割烹 石慶

ジャズからばう さつぱい

おまかせコース6000円から供される皿の一部。素材の良さをそのまま味わう料理に、屋久島焼きの器が彩りを添える



「本日のお薦め」は料理でなく素材を並べたお品書き。どんな料理になるかはその日のフォーシーズンと料理長との相性次第

ホール・スタッフとして働くご令嬢たちの和装姿に、「ちよいとケレン味多いかな」と思う向きもあるかもしれない。だが例えればコースをオーダーし、数品楽しんだ後に蕪と穴子の焼物が出てくれば、食する前に「蕪も穴子も、簡単に箸で崩せる柔らかさであるはずだ」と確信が持てる。それほどに味は確か。その見切りを知られば、晴れて大人の仲間入りだ。

■京都市上京区大宮通丸太町  
東入ル一丁目857番地3  
☎075-842-0705  
●17:30~24:30  
(コースL.O.21:30、フードL.O.23:00、  
バーL.O.24:00) / 日休  
【平均予算】7000円



この店を使いこなせば  
キミを大人と、認めよう

## cafe smile

カフェスマイル



飲みも食も、メニューは現代カフェのマスターアイテムが大抵揃う。3Fの店舗から眼下に眺めるプライベート芝生とビーチ。春先からは、景色として見るだけでなく、ガーデンパーティも可能になる

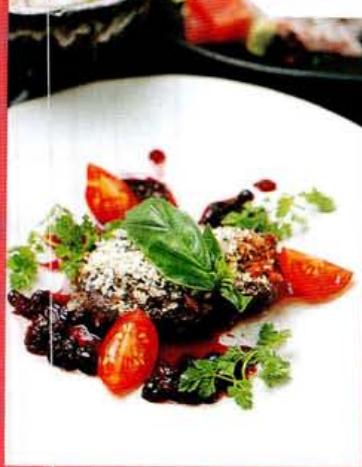


適度なメイク感の内装や秀逸なファニチャーは、内装デザイナーの名よりも、スタイリングとコーディネートを大切に成功した好例。「もちろん木田さんのエースカフェも勉強させてもらいましたけど(笑)」。「木屋町の夜景」ならぬ「琵琶湖の夕景」を引っさげたプランニュー・カフェ。こんな店がこのエリアにできた事に、まずは万歳三唱。

■滋賀県滋賀郡志賀町北浜コモロ515  
☎077-594-2663  
●12:00~24:00(フードL.O.22:00)  
木休  
http://www.cafe-smile.com  
【平均予算】2500円



もしも木田さん? 琵琶湖に  
こんなカフェ作りました(笑)



おばちゃん野菜を使った類のかぶら漬し620円、ブルーベリーソースの和牛のステーキ920円、3〜4種の刺身盛り合わせ1500円他、三重県産の伊賀豚を使った料理や、立地上ノンアルコールカクテルも多い



瀬田の雅子おばちゃんは有機野菜のゴッドマザー

有機野菜作りに精を出す雅子おばちゃんが家族のために育てた野菜を分けてくれた事は、オーナー吉川氏にとって幸運だった。子供が生まれ、先のことを考えた。「今食べている物はいずれ当たり前じゃなくなる」。そんな思いから目指した料理は、彼女の仏心なくばコスト的に不可能だった。願わくば出会って欲しい。努力と縁とメッセージでできた野菜と、料理に。



■滋賀県草津市追分814-1 1F  
☎077-564-5700  
●11:00~18:30  
17:00~深夜/無休  
【平均予算】2500円

GOURMET GOODS NIGHTSPOT FASHION BEAUTY SPACE ANOTHER



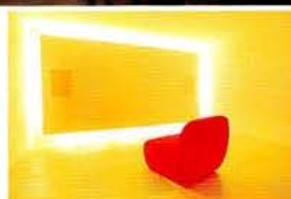
自家製デザート各500円は食べ応え充分



朝立には京野菜をたっぷり使う。若鶏の自家製タルトソース焼き780円、とれたてサーモンのカルパッチョ780円。内容は四季に移ろう松館サラダ1500円(2人前)

とつつきにくいヤツほど無二の親友になる不思議

参った。店のありかを指し示すものが何一つ残されていない。営業してるの? してないの? それさえも定かでない。南草津の駅にほど近い1号線沿いにありながら、白壁に黒のエントランスは「誰でもお入り」とは言っておくれぬ。「目的をもって来てほしいんですよ」と、オーナーは言っている。意を決して歩を進めた扉の向こうには、マットな黒に彩られ、ソクソクするほどプライベートな空間が待っているのだから。カフェとして、安息のひとときを過ごすもよし。バーとして、ソファに身を投げ出すもよし。

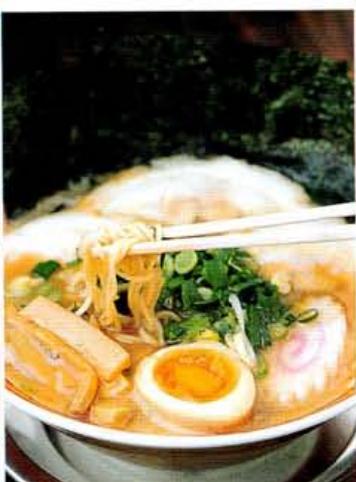


■滋賀県草津市野路町1070-11  
☎077-516-2666  
●11:00~翌2:00 (L.O.翌1:30) / 無休  
【平均予算】2500円



京都ラーメン喰いに告ぐ 和歌山の同志にまずは敬礼

肥沃な京都ラーメン事情は弊誌3月号でも周知の通り。それに比例して喰らい手のレベルが高いのも必然だが、その鉄壁に単身挑んできた「一巴流」。京都は勿論、全国行脚した上で社長がつかんだ肴が和歌山ラーメン。「ご当地」なるブーム嫌いもまた京都。トロリと濁ったスープに、腹で笑うか舌を巻くか。懐広く挑戦を受けるのが寛裕とマナーと言えよう。



特製一巴流そば800円。豚骨と鶏ガラを2日間強火で炊いたスープのコクは背筋系とはまた異なる。麺は固めに茹でたストレートの細麺



コクのあるスープに酸味、辛味、甘味を加えたつゆにツルツルの太麺をつけて食べる。つけ麺は650円。こちらの味も新たな出会い



■京都市北区紫野下門町2-2  
☎075-494-1490  
●11:30~15:00 17:00~23:00  
土11:30~23:00  
日祝11:30~22:00/月休(祝日の場合は翌日休)  
【平均予算】700円



白を主役にしても無機質とは程遠く、さりげない癒しが溢れる空間。セット面の数は抑え目に。髪型が空間使いでリラックスを演出

ココロを癒せ!と腕を振るう、シャンプー&マッサージ。中国へ修行に行ったという癒し系シャンプー「干洗按摩」は他店では体験できぬ爆睡快適仕様。加えてマイクロミストのトリートメント&バリ発ヘアエステ。の三つ巴にもう悶絶。追加料金? 要りませんとも。

■京都市長岡京市間田2丁目  
120-2 和幸ビル1F  
☎075-954-5117  
●9:00~19:00 (木曜~20:00、日曜~18:00)  
月・第3火休  
【メニュー】カット4000円 パーマ5000円~ カラー 5000円~



一度でヤミツキ&天使の輪 浮気許さぬヘアマッサージ